



新緑の声

日本では、4月、5月や10月は気候がとてよく、野外活動に最も向いています。里地での散策や入山するには最適な時期です。

私は、春と秋には快適に仕事ができるだけでなく、毎年鳥の渡りも楽しんでます。3月中にツバメが飛来した後、4月になるとサシバ、オオルリ、キビタキなどの夏鳥が目立ってきます。あきる野で一時的に滞在する美しいヒレンジャクや夜に不思議な鳴き方をするミゾゴイなどの珍しい鳥に出会えるチャンスもあります。特に5月に入ってから猛禽類では珍しいハチクマ、可愛いサンコウチョウ、センダイムシクイやホトトギスなどの出番になります。奥山の沢沿いなどの登山道上で運がよければ、あきる野では珍しい夏鳥であるコマドリやコルリを目撃することもあります。森の中で耳を澄ましたら、繁殖で忙しくなっているたくさんの「新緑の声」が聞こえます。コンサートの様にメロディーが豊かで、とても賑やかな森になります。



渡り鳥の中でも人気のサシバ（オス）。九州では、1日で千羽以上を見ることができですが、あきる野で一日の最高記録は40羽程度です。東京では、渡りの時期以外はオオタカよりずっと少なく、絶滅危惧種に指定されている貴重な猛禽類です。

この季節は、森の中でオオルリ、キビタキや留鳥（一年を通して同一地域に住む鳥）のミソサザイの美しい鳴き声、とても面白い鳴き方をするアオバト、サンコウチョウ、ツツドリやホトトギスなどの「新緑の声」を楽しむことができます。地図と図鑑を持ち、夏前の新緑と豊かな自然であふれている山に入山するには最高の時期でしょう。

（パブロ）